

1月

明けましておめでとうございます。いよいよ令和六年がスタートしました。多くの方が、新鮮な気持ちで新しい年を迎えたことと思います。ただ、年が明けてすぐの1月1日に、石川県を中心に震度7の大きな地震が発生しました。能登半島各地では、建物の崩壊や土砂崩れなど甚大な被害が出ています。我々としても、今後30年以内に発生する確率が高いと言われる南海トラフ地震が起きる地域で暮らしています。災害に対しては、常に備えておくんだという気持ちを忘れずにいたいものです。また、この冬はインフルエンザの流行が懸念されています。大切なときに、インフルエンザやコロナに感染とならないように、生徒の皆さんには各自でできる感染症対策をしっかりと進めていってほしいです。

さて、始業式では「今さら」「今から」「今なら」の話をしました。三学期に学校へ来る回数は、三年生であと40日、一・二年生で50日ほどです。「50日しかない」と考えると、「もう今さら」という、投げやりであきらめかけた後ろ向きの気持ちになります。逆に「三学期、まだ50日あるぞ」と捉えれば、「さあ今から」という希望、期待、来年度につながる新たな目標も見えてくるでしょう。三つ目の「今なら」となれば、決意、勇気、行動、一步踏み出す意思のある言葉となります。「今さら」とあきらめるのか、「今から」と決断するか、「今なら」と行動するのか、生徒の皆さんの心には、どの「今」があるでしょうか。

ちなみに、「今」に「心」と書いて「念」という字になります。「念」とは、思いや気持ち、願いの意味がありますが「実践する」という意味もあります。何を実践するのかというと、漢字で示す通り「今の心」となっているので、「今、目の前にあることを一生懸命実践する」ことを表しています。新しい年のスタートにあたり、生徒の皆さん一人一人が新たな決意や目標を持っていると思いますが、「今、自分にできることを確実に実践していく」ことが、一人一人の夢や目標達成につながっていくのだと思っています。

結びとなりますが、1月9日より三学期がスタートしています。三学期は学年でいうと最後の学期、まとめとなる大切な学期です。一・二年生の皆さんは、今の学年で身につけなければならないことはしっかり身につけ、立派に進級できるよう頑張ってください。三年生の皆さんは、3月7日が卒業式となっています。一日一日を大切に過ごして、残り少ない中学校生活を充実させていってください。生徒の皆さんの「今」の頑張りが、4月以降の大きな成長につながっていくことを期待しています。



